

100 V 15000 lmの投映で、設置時の工数削減にも貢献。 岐阜の夜を彩る大規模イベントをサポート。



KSGクリエイティブ株式会社 様 ぎふ灯り物語 2025

導入時期：2025年1月
導入地域：中部

課題

200 Vの電源工事を実施することなく、少ないプロジェクター台数で高輝度な映像演出を行いたい

解決策

15000 lmをAC100 Vで投写可能なPT-REQ15で、設置作業の工数を削減しながら十分な明るさを確保

設置・施工を円滑にする多彩な機能により、思い描いた演出を期限内に実現することができました。

KSGクリエイティブ株式会社
代表取締役社長
黒岩 孝彦 様

※所属は納入時のものです。

背景

冬の夜を盛り上げる新たな観光資源を創出

鶺鴒で有名な岐阜市様では、鶺鴒のオフシーズンである冬の新たな風物詩を創造するため、岐阜和傘や岐阜提灯などを用いたライトアップのイベント「ぎふ灯り物語」を開催しています。岐阜公園を舞台に毎年開催されている本イベントは、岐阜市ならではの題材をプロジェクションマッピングを取り入れた魅力あるコンテンツで表現。2025年は9日間の開催で約15000人が訪れました。5回目を迎えた「ぎふ灯り物語2025」は、KSGクリエイティブ株式会社が企画・構成・制作・施工・運営を担当し、1チップDLP®レーザープロジェクターを計15台使用して公園内を彩りました。

導入した理由

15000 lmをAC100 Vで投写可能なPT-REQ15を採用

KSGクリエイティブ株式会社 代表取締役社長の黒岩様は、「以前からパナソニックのPT-RZ120を使用しており、今回のイベントで最新のプロジェクターPT-REQ15を10台追加購入しました。画質や安定性において信頼性が高く、さらに新モデルは100 V電源に対応している点が魅力的でした。公園でのマッピングは電源工事に苦勞しますが、明るさは損ないたくなかったため100 Vで15000 lmを投写できることは何よりありがたかったです。また、調整作業の負担を軽減するスクリーン調整ソフト『Geometry Manager Pro』が無償で使える点もポイントでした」と語ります。

岐阜市の夜に賑わいをもたらす

GIFUナイトビュー事業実行委員会様(事務局：岐阜市観光コンベンション課内)が主催する「ぎふ灯り物語」は、多くの岐阜市民に親しまれている岐阜公園を舞台に開催され、史跡や自然物へマッピングすることで、見慣れた景色が新たな冬の観光資源に生まれ変わる、これまでにない映像体験を提供しています。

- 開催場所：岐阜公園・正法寺(プロジェクションマッピングは岐阜公園)
- 開催日：2025年1月18日(土)～1月26日(日)



▲貸し出された和傘や提灯を持って写真が撮れるフォトスポット

プロジェクションマッピング



▲ 高さ約20 mの崖一面に岐阜市の歴史を映し出した大迫力のメインスポット「奇跡の崖」



▲ 「奇跡の崖」に投映された斎藤道三、織田信長のマッピング



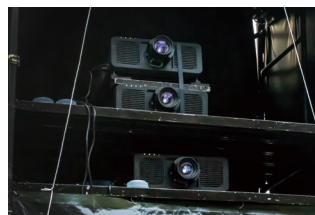
▲ 「恋する冠木門」(メインビジュアル写真)では足場に乘せたPT-REQ15を左右に2台設置して池を投映



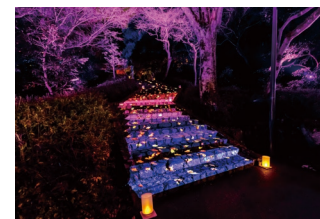
▲ 「縁日参道」では約50 mの遊歩道を5台のPT-RZ120で映し出した



▲ 「奇跡の崖」は3台のPT-REQ15を乗せた足場を2基設置して合計6台で投写



▲ 「奇跡の崖」のPT-REQ15.遠隔で操作可能な調整ソフトが設置時の作業をサポートした



▲ 門をくぐると最初に広がる「提灯階段」ではPT-REQ15を2台活用



▲ 日本の縁日を感じさせる映像で演出された「縁日参道」はPT-RZ120で演出

お客様の声

今後も様々なイベントで活用していきたい

今回初めてパナソニックのプロジェクターをイベントで使用してみて非常にタフなプロジェクターだと感じました。この「ぎふ灯り物語」を機に新しいモデルを購入し、運営を進める中で新たな発見も沢山ありましたので、これを足掛かりに今後も様々なイベントに挑戦していきたいと思えます。



KSGクリエイティブ株式会社
代表取締役社長
黒岩 孝彦 様

※所属は納入時のものです。

導入後の効果

新プロジェクター×超短焦点レンズで演出力を向上

イベントの入口となる冠木門(メインビジュアル写真)では、2台のPT-REQ15と超短焦点ズームレンズET-C1U100を活用。黒岩様は、「砂利が敷かれた地面に約12 m×8 mの池を映し出すため、足場に乘せて2方向から投写しました。PT-REQ15なら十分な明るさが確保でき、超短焦点の新型レンズとレンズシフト機能を組み合わせることで人が歩いた時の影を抑えることが可能です。この組み合わせのおかげで、プロジェクター台数を増やすことなく狙い通りの演出を実現することができました」と語ります。また、調整作業を担当した同社イベントチーム エンジニアの平松様は、「冠木門ではPT-REQ15に内蔵されているグリッド線を映し出す機能を活用してリモコンで調整しましたが、非常に調整しやすいプロジェクターだと思いました」と語ります。

高度な調整が簡単に行えるソフトで現場作業を効率化

6台のPT-REQ15で演出した「奇跡の崖」では、幾何学ひずみ補正やエッジブレンド機能がPCで行える無償ソフトウェア「Geometry Manager Pro」を活用して作業を実施しました。平松様は、「ここは凹凸のある崖が投映面になるため最も難しい場所でした。またプロジェクターを3台ずつ2方向から投写するためブレンドの難易度も高かったのですが、このソフトのおかげでPCから6台のプロジェクターをまとめて操作することができ、細かな調整もかなりスムーズに行えました」と語ります。さらに黒岩様は、「設置日に雪が降るなど困難な環境でしたが、調整作業を省力化してくれるソフトのおかげで工期内に終わらせることができました。また、プロジェクターが100 V対応だったので電源工事でも時短でき助かりました」と語ります。

納入機器

- 1チップDLP®レーザープロジェクター PT-REQ15JLB ×10台
- 1チップDLP®レーザープロジェクター PT-RZ120JLB ×5台
- 超短焦点ズームレンズ ET-C1U100 ×2本
- ズームレンズ ET-C1W300 ×2本
- ズームレンズ／標準レンズ ET-C1S600 ×6本
- 固定焦点レンズ(超短焦点レンズ) ET-DLE035 ×5本

